

# 竹 朋

編集発行

山本学園同窓会 竹朋会

事務局:山形市城西町3-13-7  
(山本学園高等学校内)

TEL:023-643-0323

FAX:023-643-2974

## 次の百年に向かって

山形市小姓町に今の山本学園高等学校の  
礎となる渡利裁縫女塾が開塾し今年で102年。

「健康・誠実・友愛」の校訓の下、  
母校は次の100年に向け新しい一歩を踏み出します。

### ～渡利アイ先生 略歴～

明治21年、山形市小荷駄町生まれ。

県立山形高等女学校本科、同補習科を卒業後、同校内に設立されていた  
裁縫講習会に入会する。

19歳で長崎町（現中山町）渡利弥兵衛氏に嫁ぐも、大正5年、28歳時に夫  
に先立たれ未亡人となる。

夫亡き後、今後は裁縫で生計を立てることを決意し、幼子を抱える身ながら  
周りの協力のもと上京、裁縫の勉強に励む。

大正8年、帰郷し本校の礎となる渡利裁縫女塾を開塾。

昭和5年4月13日逝去。享年41。

母校創立  
100周年  
記念号



山本学園 同窓会

検索



## 百周年によせて

山本学園同窓会竹朋会  
会長 遠藤 陽子

これまで幾多の課題・難題を乗り越えられ母校創立百周年を迎えられましたことに心よりお祝いを申し上げますと共に、先生方の叡智と弛まぬ御努力に深甚なる感謝を申し上げます。

山本学園同窓会『竹朋会』も、昭和三年（一九二八年）竹田裁縫女学校時代に発足し、その後、竹田技芸専門学校、昭和三十七年（一九六二年）竹田女子高等学校、平成六十二年（一九八七年）山本学園高等学校となり、各校を母体として「会員の親睦」・「母校の支援」を目的として長い歴史を歩み、同窓生は二万六千七十三名となりました。

会員の皆様には、母校の隆盛と「文武両道」に活躍する母校のニュースを何より楽しみにしておられることと思います。母校には、これからの諸課題にも先進的に取り組まれ、次の百年に向け大いなる発展を期待して止みません。

本会も、母校あつての「竹朋会」であることを銘記し、組織の充実が母校拡充に寄与できるものと決意を新たにしつつ挨拶とさせていただきます。



## 会報発行によせて

学校法人 山本学園  
理事長 山本 恒雄

竹朋会同窓会報の発行まことにおめでとうございます。山本学園はお蔭様で創立百周年の大きな節目を迎えます。本学に対してのご協力、ご支援、このたびの多大なご寄付に深く感謝申し上げます。

私自身の日常で「実は卒業生です。」とお声がけ頂くことも多く、大勢の卒業生が活躍していることを知り、喜びを感じます。

新たな挑戦により先人達は乗り切って参りました。和裁の時代に洋裁を取り入れたこと、花形職業のタイピストの育成、東北で最高の視聴覚センターで映像配信、LL教室を設置、東北初のワープロや大型コンピュータの導入、そして、国際交流など、何れの時代にも学ばれた方々が、思い起こせば新時代の到来だったと感じてくださったのではと自負しております。

次なる世紀に向けて、今後も知の資産の持続的創出をまいります。

円型校舎の立て直しに始まった百周年の事業ですが、本学の卒業生が交流し、また、新たなつながりが生まれますような企画がなされます。ぜひ、ご参加いただければ幸いです。



## 同窓会によせて

山本学園高等学校  
校長 関 義人

同窓会の皆様におかれましては、ご健勝でますますご活躍のことと拝察致します。また、母校発展のため、多大なるご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、学校法人山本学園は今年度創立百周年を迎えることとなりました。現在、高校の卒業生であり、実業家で山辺町議もなさっている安達春彦氏に実行委員長を引き受けていただき、記念行事や式典の準備を進めているところです。

現在は「風」の時代といわれています。その言葉通り世の中は急激な変化を見えています。山本学園高等学校もその変化に対応すべく山形県におけるICT教育の先進校を目指し日々邁進しています。生徒全員が一台ずつノートパソコンを手にし、日々の学習に励んでおります。教職員も常に研修を重ねるレベルアップを図っています。ホームページで山本学園高等学校の取り組みを見ていただければ幸いです。

結びに、同窓会「竹朋会」の益々の発展を祈念申し上げます。